

会員様アンケート

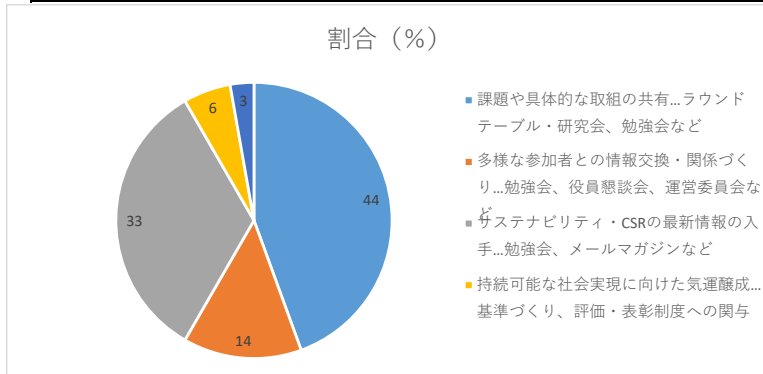
アンケート募集期間： 2019/9～11

アンケート回答率： 32%

回答数： 36

Q1：最も役に立っているとお感じの当会の取組について、次のいずれか近いものをお答えください

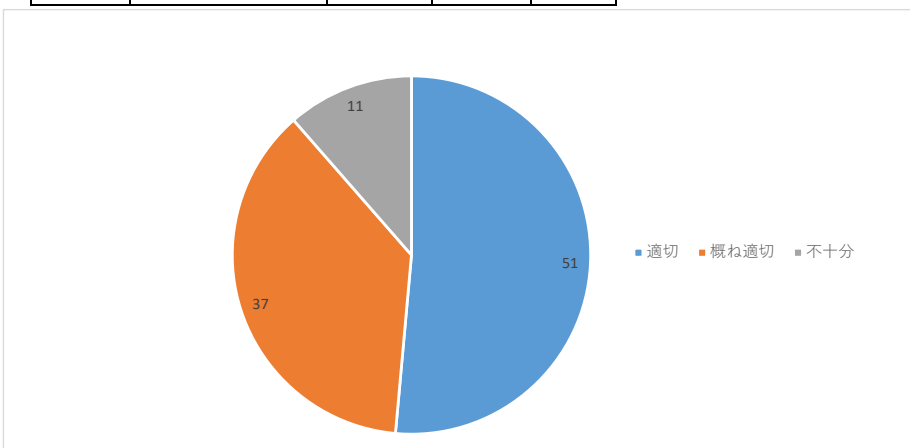
| Q1 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|----|--------------------------------------|--------|----|----|
| 1 | 課題や具体的な取組の共有…ラウンドテーブル・研究会、勉強会など | 44 | 36 | 16 |
| 2 | 多様な参加者との情報交換・関係づくり…勉強会、役員懇談会、運営委員会など | 14 | 36 | 5 |
| 3 | サステナビリティ・CSRの最新情報の入手…勉強会、メールマガジンなど | 33 | 36 | 12 |
| 4 | 持続可能な社会実現に向けた気運醸成…基準づくり、評価・表彰制度への関与 | 6 | 36 | 2 |
| 5 | 異動に伴う新任教育…CSR基礎講座、役員・部長（室長）のためのCSR講座 | 3 | 36 | 1 |



Q3：Q1でお答えいただいた取組に関する当会の活動の程度についてお答えください

【全体】

| Q3 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|----|------|--------|----|----|
| 1 | 適切 | 51 | 35 | 18 |
| 2 | 概ね適切 | 37 | 35 | 13 |
| 3 | 不十分 | 11 | 35 | 4 |

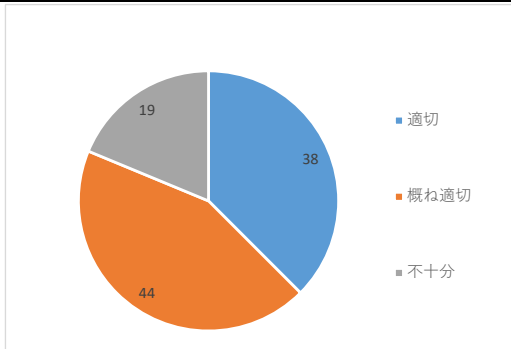


「不十分」を回答された方の改善案など

| Q3-1 | 具体名 |
|------|--|
| 1 | 十分な情報開示がされていない |
| 2 | 「概ね適切」にしましたがもう少し勉強の機会があればと思います |
| 3 | ビッグビジネスへの働きかけも重要だが、スモールビジネスへのアプローチも必要では？ |

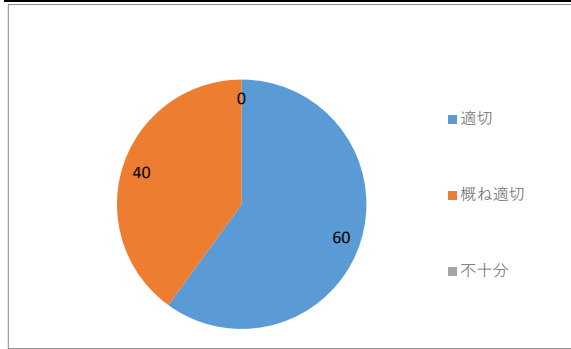
【Q1で「(1) 課題や具体的な取組の共有…ラウンドテーブル・研究会、勉強会など」と回答された方】

| 3-2 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|-----|------|--------|----|----|
| 1 | 適切 | 38 | 16 | 6 |
| 2 | 概ね適切 | 44 | 16 | 7 |
| 3 | 不十分 | 19 | 16 | 3 |



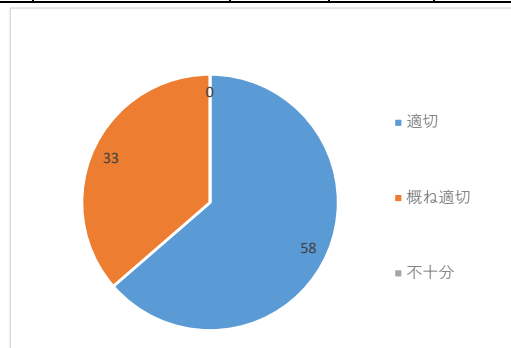
【Q1で「(2) 多様な参加者との情報交換・関係づくり…勉強会、役員懇談会、運営委員会などと回答された方】

| Q3-3 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|------|--------|----|----|
| 1 | 適切 | 60 | 5 | 3 |
| 2 | 概ね適切 | 40 | 5 | 2 |
| 3 | 不十分 | 0 | 5 | 0 |



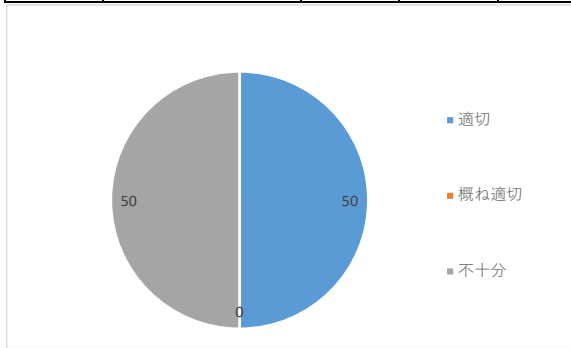
【Q1で「(3) サステナビリティ・CSRの最新情報の入手…勉強会、メールマガジンなど」と回答された方】

| 3-4 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|-----|------|--------|----|----|
| 1 | 適切 | 58 | 12 | 7 |
| 2 | 概ね適切 | 33 | 12 | 4 |
| 3 | 不十分 | 0 | 12 | 0 |



【Q1で「(4) 持続可能な社会実現に向けた気運醸成…基準づくり、評価・表彰制度への関与」と回答された方】

| Q3-5 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|------|--------|----|----|
| 1 | 適切 | 50 | 2 | 1 |
| 2 | 概ね適切 | 0 | 2 | 0 |
| 3 | 不十分 | 50 | 2 | 1 |

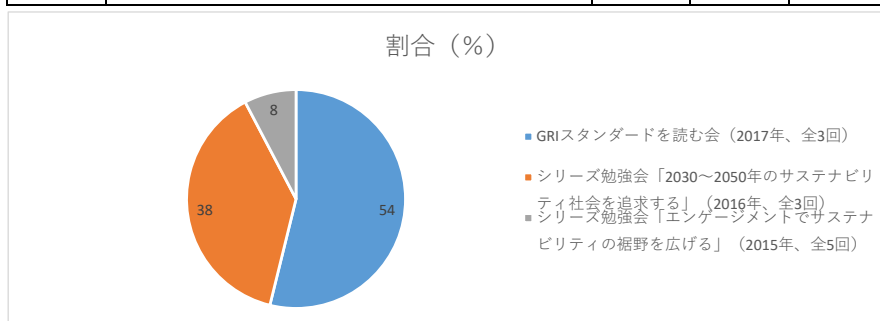


【Q1で「(5) 異動に伴う新任教育…CSR基礎講座、役員・部長（室長）のためのCSR講座」と回答された方】

| 3-6 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|-----|------|--------|----|----|
| 1 | 適切 | 100 | 1 | 1 |
| 2 | 概ね適切 | 0 | 1 | 0 |
| 3 | 不十分 | 0 | 1 | 0 |

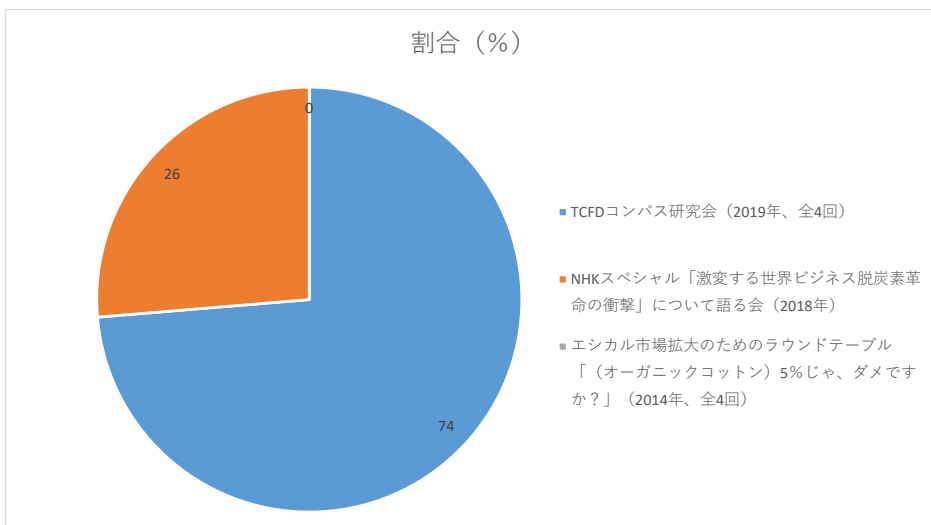
Q2：過去、良かった取組（共催・協力含む）について、次の中からお選びください ※形式別に代表的なものを挙げています
勉強会

| Q2-1 | 勉強会 | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|--|--------|----|----|
| 1 | GRIスタンダードを読む会（2017年、全3回） | 54 | 13 | 7 |
| 2 | シリーズ勉強会「2030～2050年のサステナビリティ社会を追求する」（2016年、全3回） | 38 | 13 | 5 |
| 3 | シリーズ勉強会「エンゲージメントでサステナビリティの裾野を広げる」（2015年、全5回） | 8 | 13 | 1 |



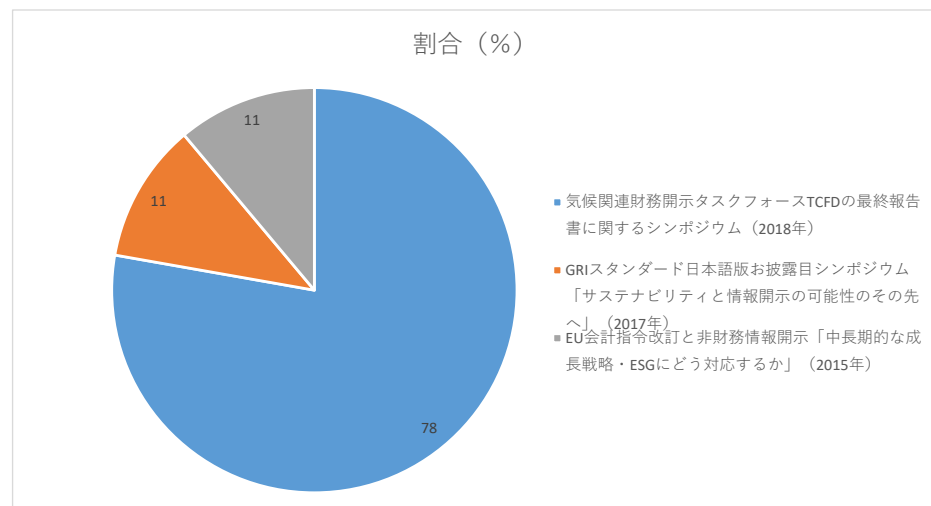
Q2：過去、良かった取組（共催・協力含む）について、次の中からお選びください ※形式別に代表的なものを挙げています
 ラウンドテーブル

| Q2-2 | ラウンドテーブル | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|--|--------|----|----|
| 1 | TCFDコンパス研究会（2019年、全4回） | 74 | 19 | 14 |
| 2 | NHKスペシャル「激変する世界ビジネス脱炭素革命の衝撃」について語る会（2018年） | 26 | 19 | 5 |
| 3 | ニックコットン「5%じゃ、ダメですか？」（2014年、全4回） | 0 | 19 | 0 |



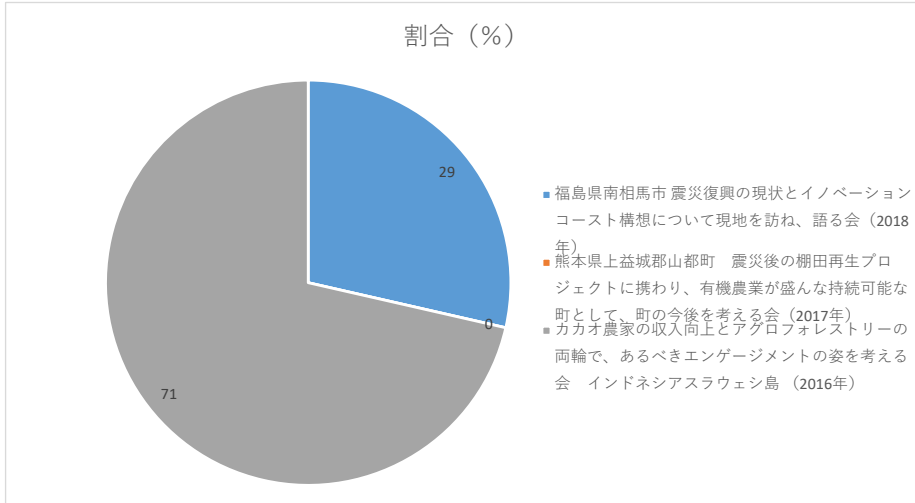
Q2：過去、良かった取組（共催・協力含む）について、次の中からお選びください ※形式別に代表的なものを挙げています
 シンポジウム

| Q2-3 | シンポジウム | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|--|--------|----|----|
| 1 | 気候関連財務開示タスクフォースTCFDの最終報告書に関するシンポジウム（2018年） | 78 | 27 | 21 |
| 2 | GRIスタンダード日本語版お披露目シンポジウム「サステナビリティと情報開示の可能性のその先へ」（2017年） | 11 | 27 | 3 |
| 3 | EU会計指令改訂と非財務情報開示「中長期的な成長戦略・ESGにどう対応するか」（2015年） | 11 | 27 | 3 |



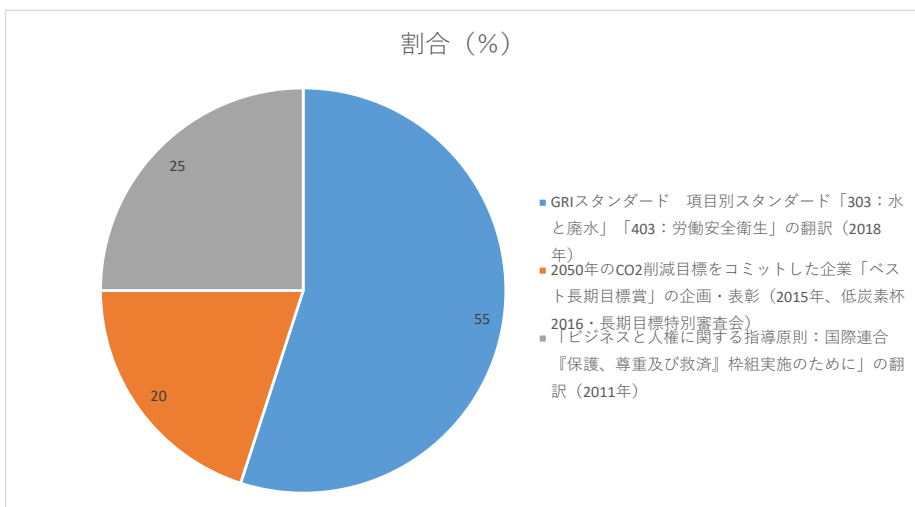
Q2：過去、良かった取組（共催・協力含む）について、次の中から選びください ※形式別に代表的なものを挙げています
エコツアー

| Q2-4 | エコツアー | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|--|--------|----|----|
| 1 | 福島県南相馬市 震災復興の現状とイノベーションコースト構想について現地を訪ね、語る会 (2018年) | 29 | 7 | 2 |
| 2 | 熊本県上益城郡山都町 震災後の棚田再生プロジェクトに携わり、有機農業が盛んな持続可能な町として、町の今後 | 0 | 7 | 0 |
| 3 | カカオ農家の収入向上とアグロフォレストリーの両輪で、あるべきエンゲージメントの姿を考える会 インドネシア | 71 | 7 | 5 |



Q2：過去、良かった取組（共催・協力含む）について、次の中から選びください ※形式別に代表的なものを挙げています
その他・翻訳や表彰など

| Q2-5 | その他・翻訳や表彰など | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|------|--|--------|----|----|
| 1 | GRIスタンダード 項目別スタンダード「303：水と廃水」「403：労働安全衛生」の翻訳 (2018年) | 55 | 20 | 11 |
| 2 | 2050年のCO2削減目標をコミットした企業「ベスト長期目標賞」の企画・表彰 (2015年、低炭素杯2016・長期目標特 | 20 | 20 | 4 |
| 3 | 「ビジネスと人権に関する指導原則：国際連合『保護、尊重及び救済』枠組実施のために」の翻訳 (2011年) | 25 | 20 | 5 |



Q2：過去、良かった取組（共催・協力含む）について、次の中から選びください ※形式別に代表的なものを挙げています
上記の中にない場合は、これまでの取組変遷の表なども参考にしていただき下記に具体名をお書きください

| Q2-6 | 具体名 |
|------|-----------------------------|
| 1 | CSR基礎講座 |
| 2 | 具体的な名称までは記憶していません |
| 3 | TCFDの翻訳が、大変役に立っております |
| 4 | CSR講座に参加させていただいており、助かっております |

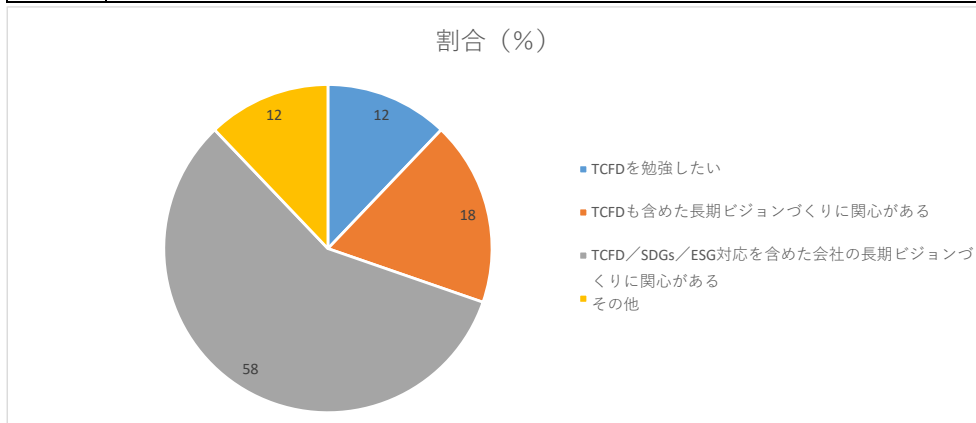
Q4：現在のご関心のテーマについてお聞かせください

| | |
|----|---|
| Q4 | 自由記述 |
| 1 | CSRの社内浸透、ステークホルダーエンゲージメント |
| 2 | 気候変動についての一般的に使用されているシナリオの理解 |
| 3 | 大企業には広がってきたESGやSDGsのローカライズ、中堅企業への広がり |
| 4 | 経済的不平等とポピュリズム、アマゾン森林火災、工場の畜産と抗生物質、農業と虫の減少、低金利と地域金融機関の苦境 |
| 5 | これからの世界と日本、産業と社会 |
| 6 | 各種ガイドライン |
| 7 | ビジネスモデルキャンパス+CSR/SDGs |
| 8 | SDGsをどう伝えれば、心に響いて、行動変化につながられるのか |
| 9 | 農産物のグローバルなサプライチェーン |
| 10 | テーマということではありませんが、顔みえる形での情報交換が強みだと思います |
| 11 | 気候変動への緩和と適応 |
| 12 | 産業構造の変革 |
| 13 | 農作物におけるTraceability構築、特に零細な農民が数多く存在する場合の有効な手段についてのあ るべき姿など |
| 14 | TCFD、SDGs |
| 15 | 次期社会ビジョン、コミュニケーション、合意形成、情報化社会 |
| 16 | 気候変動への取り組み、Co2排出量削減への他社の具体的取り組み等 |
| 17 | 投資家対応以外の観点から企業の自発性を促すにはどのようにしたらよいか、という点に関心があ ります。 |
| 18 | オリンピック調達コード |
| 19 | TCFDの国内外の動向 |
| 20 | ESGと経営上の目標を整合させることの価値と、そのために必要なTCFDシナリオ分析のテクニック |
| 21 | TCFD |
| 22 | 人権デュー・ディリジェンス |

Q5：中長期ビジョンを掲げる企業にとって不確実性が増す世の中においてそれが耐えるものなのかの検証と中長期ビジョンに向けたロードマップを策定するのにTCFDは有用であると考えます。TCFDにどう対応したいとお考えですか、次のいずれか近いものをお答えください

| Q5 | 割合 (%) | 全体 | 件数 | |
|----|---------------------------------------|----|----|----|
| 1 | TCFDを勉強したい | 12 | 33 | 4 |
| 2 | TCFDも含めた長期ビジョンづくりに関心がある | 18 | 33 | 6 |
| 3 | TCFD/SDGs/ESG対応を含めた会社の長期ビジョンづくりに関心がある | 58 | 33 | 19 |
| 4 | その他 | 12 | 33 | 4 |

| | |
|------|---|
| Q5-1 | 「その他」の自由記述 |
| 1 | 長期ビジョンはできてしまったので、TCFDの勧告に沿って見直しを行い、改善ポイントを整理したい |
| 2 | 学生にはきちんと伝えるようにしたいと思います |
| 3 | ファーストステップの5年の経過は必要 |



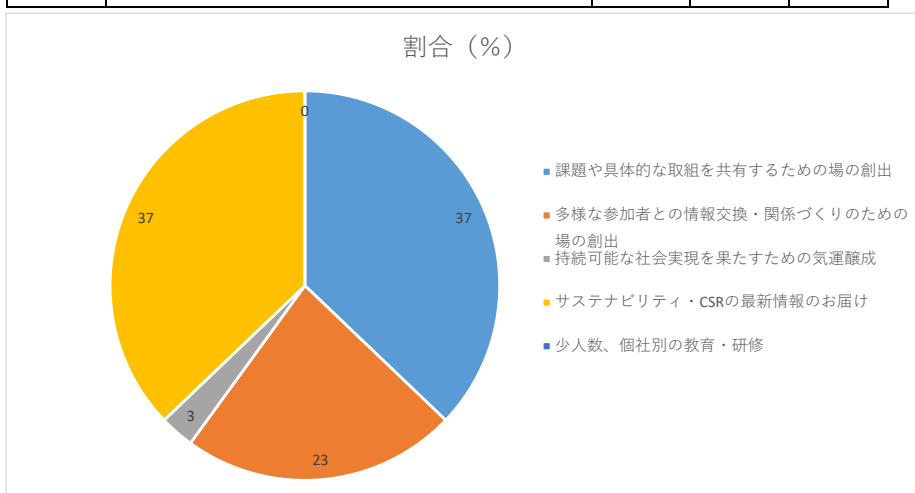
【（参考）「TCFD/SDGs/ESG対応を含めた会社の長期ビジョンづくりに関心がある」と回答した方と良かった取組

その他・翻訳や表彰などの回答の相関性】

| Q5-2 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 | 母数 |
|------|--|--------|----|----|----|
| 1 | GRIスタンダード 項目別スタンダード「303：水と廃水」「403：労働安全衛生」の翻訳（2018年） | 32 | 19 | 6 | 11 |
| 2 | 2050年のCO2削減目標をコミットした企業「ベスト長期目標賞」の企画・表彰（2015年、低炭素杯2016・長期目標特別審査会） | 5 | 19 | 1 | 4 |
| 3 | 「ビジネスと人権に関する指導原則：国際連合『保護、尊重及び救済』枠組実施のために」の翻訳（2011年） | 21 | 19 | 4 | 5 |

Q6：今後、より内容の充実や拡大が期待される取組について、次のいずれか近いものをお答えください

| Q6 | | 割合 (%) | 全体 | 件数 |
|----|----------------------------|--------|----|----|
| 1 | 課題や具体的な取組を共有するための場の創出 | 37 | 35 | 13 |
| 2 | 多様な参加者との情報交換・関係づくりのための場の創出 | 23 | 35 | 8 |
| 3 | 持続可能な社会実現を果たすための気運醸成 | 3 | 35 | 1 |
| 4 | サステナビリティ・CSRの最新情報のお届け | 37 | 35 | 13 |
| 5 | 少人数、個社別の教育・研修 | 0 | 35 | 0 |



Q7：その他、当会に関し、ご希望・ご意見等ありましたら率直にお聞かせください

| Q7 | 自由記述 |
|----|--|
| 1 | 参加者を限定しない勉強会や交流会の開催を希望します。 |
| 2 | マルチステークで、本音で語り合える場づくりはほかのネットワークにない強みだと思います。ぜひお手伝いさせてください。 |
| 3 | いつもお疲れ様です。あまり参加できず申し訳ありません。 |
| 4 | 全体のポリシーの明確化と実践 |
| 5 | マルチステークホルダーの活動情報 |
| 6 | 例えば…後藤さんや園田さんの講演をじっくり聞けるシンポジウムや勉強会などの開催（数回行いファンを増やす） |
| 7 | 企業のCSR/SDGs担当の方との横のつながりを得る貴重な場として参加させていただいています。 |
| 8 | いないため、評価ができない。sus-fに私が求めるのは、最新のトレンド動向、以前のトレンドがどう変化（衰退、変革）したかの結果と分析。サステナブルでWell-beingな人類未来社会を実現する。各々独自で研究開発していて、ビジョンでつながって、必要に応じてコラボする宇宙食に関心が高い。" |
| 9 | 未だ入会して間もなく、勉強会等への参加も行っていませんのでアンケートに十分な回答ができかねます。申し訳ございません。 |
| 10 | 大変有益な情報、機会を載っていると考えています。 |
| 11 | CSRでは、「なんとなくわかる」という人が最も多く、「経営（収益）とは無関係」という意識が消えません。この視点で人材育成戦略としての成功している事例の具体的なお話、情報があればぜひ参考にしたいと思っております。 |
| 12 | あまり参加できておりませんが、TCFDのような時流を見た海外資料の翻訳を誰かにやってほしいと期待しております。 |
| 13 | 企業側としては担当者が異業種間で交流できる仕組みづくりが有効と考えます |